

1071
Fruitful month

密
秘

一哨機密第八號

自 昭和十六年十一月二十日
至 昭和十六年十二月三十日

第一哨戒艇隊
第一號哨戒艇

事變日誌

十一月一日送付

所	務
艦	務
隊	務
附	務
屬	務
府	務

目次

一	經	過
二	人員ノ現状	
三	重要命令達報告通報	
四	作戰經過概要	
五	機	関
六	工	作
七	兵	器
八	医	務
	衛	生
	部	
九	會	計
	經	理

一 経 過

十一月二十日附第一哨戒艇隊編成セラル。第一號哨戒艇(旧横須賀防備隊)第三號哨戒艇(旧第二防備隊)第三十五號哨戒艇(旧第二防備隊)第三十三號哨戒艇(旧佐伯防備隊)第三十四號哨戒艇(旧第一防備隊)第三十五號哨戒艇(旧大湊防備隊)第三十六號哨戒艇(旧第二防備隊)第三十七號哨戒艇(旧舞鶴防備隊)第三十八號哨戒艇(旧第三防備隊)第三十九號哨戒艇(旧佐世保防備隊)ノ合計十隻ヲ以テ夫々第一哨戒艇隊ニ編入セラル。聯合艦隊附屬トセラル。同日附第三十五號第三十三號哨戒艇及第三十六號乃至第三十九號哨戒艇ハ夫々ノ旧所管艦隊ヨリ横須賀鎮守府ニ所管ヲ変更セラル。各艇乗組ノ准士官以上及下士官兵ハ同日附第一哨戒艇隊

附^二轉勤被命^一更^二次^一ノ職員ヲ發令セラル

第一哨戒艇隊司令 海軍大佐 西川 速水

同 機関長 海軍機関少佐 堀切 春吉

同 軍醫長 海軍軍醫中尉 筋 祐三郎

同 主計長 海軍主計中尉 菊池 康太

同 附 海軍主計少曹長 園崎 和希

第一號哨戒艇ハ十一月十九日横須賀出港 二十二日佐世保入

港 第二號哨戒艇ト合同ニ戰備作業ニ從事ス、二十五日

司令着任司令艇ヲ第一號哨戒艇ト定メラル。同日

隊機関長着任乗艇ヲ第二號哨戒艇ニ指定セラル

二十三日隊附岡崎主曹長着任乗艇ヲ第一號哨戒艇ニ指

定セラル。二十四日主計長着任乗艇ヲ第一號哨戒艇ニ指定

3

セブル

佐世保ニ於テ各種戰備作業並ニ燃料清水治療品貯糧
 品被服生糧品酒保物品塔載ノ上備戰準備第二作業ヲ
 完了シ第三號哨戒艇ハ二十五日單獨ニテ佐世保出港第一
 號哨戒艇ノ司令之ヲ率テ二十六日佐世保出港オホ島
 水道ニ於テ第三艦隊ト合同同日第一第二號哨戒艇
 ヲ率テ高雄ニ向ケ出港ス
 二十八日基隆東北方海面ニ於テアメリカ潜水艦ヲ認メ
 タルモ間モ無ク見失フ
 二十九日高雄港外着 三十日入港高雄ニ於テ警泊對
 戰待機ヲナス
 此ノ間時日ニ餘詰ナキ爲臨戰準備ハ極メテ繁忙且不
 自由裡ニ行ハレタルモ各艇共乗員一同士氣極メテ

旺盛、衛生状況も亦良好ニシテ、至極順當ニ経過シ、
 意聖戦目的貫徹ニ邁進セリ。
 全期間中、隊編成當初ヨリ、第三十二號乃至第三十九號哨
 戒艇、全ク分離行動中ニシテ、一回も合同セズ、其ハ状況不
 明ナリ。

4

二

(1) 人員、現状
准士官以上

十一月二十日現在

同	同	同	同	同	隊	艇	職
機	機	津	掌	航	砲	艇	配
械	関	水	砲	海	術	長	置
長	長	雷	長	長	長	分	置
機	機	兵	持	豫	豫	豫	官
曹	曹	曹	少	少	中	大	官
長	尉	長	尉	尉	尉	尉	尉
山	伊	太	渡	重	黒	康	氏
本	藤	田	辺	廣	木	實	氏
耕	良	定	啓		克	實	氏
策	平	雄	一	敏	己	夫	氏

兵種	兵科	機園科	工作科	看護科	主計科	合計
上等兵	七	八				一五
下等兵	五	三				八
一等兵	一〇	三		一	一	一五
二等兵	五九	一四	一		三	五七
三等兵	〇	六	一			一七
合	一三	七			三	二二
計	八四	四一	二	一	六	一三四

(四) 下士官等
十一月十日現在

<p>三、重要命令、達報告、通報</p> <p>昭和二十二年</p> <p>〇〇〇〇</p> <p>大 臣 横 鎮 長 官</p>	<p>令 達 報 告 等</p> <p>二十日、第一號哨戒艇、横須賀隊所属ヲ解ク。</p> <p>二十四、三十五號哨戒艇、二十五日早朝、口入港ニ入定</p> <p>是着、口九五〇</p> <p>哨隊附、佐世保ニ赴任セシメラルシ度</p> <p>左記各艇、乗員ニ對シテ給与通牒、至急第一號哨戒艇ニ送付相成シ度</p> <p>一號二號 三十三號 三十四號 三十五號 三十六號 三十七號 三十八號 三十九號</p>	<p>權別</p>
<p>三十一日</p> <p>〇〇〇〇</p> <p>大 臣 横 鎮 長 官</p>	<p>哨 隊 附 佐 世 保 二 赴 任 セ シ メ ラ ル シ 度</p>	<p>〇〇〇</p>
<p>三十四日</p> <p>〇九三〇</p> <p>哨 隊 司 令</p>	<p>是着、口九五〇</p>	<p>〇〇〇</p>
<p>三十四日</p> <p>〇九五〇</p> <p>哨 隊 司 令</p>	<p>哨 隊 附 佐 世 保 二 赴 任 セ シ メ ラ ル シ 度</p>	<p>〇〇〇</p>
<p>三十四日</p> <p>一〇二〇</p> <p>哨 隊 司 令</p>	<p>哨 隊 附 佐 世 保 二 赴 任 セ シ メ ラ ル シ 度</p>	<p>〇〇〇</p>
<p>三十五日</p> <p>一七四〇</p> <p>哨 隊 司 令</p>	<p>哨 隊 附 佐 世 保 二 赴 任 セ シ メ ラ ル シ 度</p>	<p>〇〇〇</p>
<p>哨 隊 司 令</p>	<p>哨 隊 附 佐 世 保 二 赴 任 セ シ メ ラ ル シ 度</p>	<p>〇〇〇</p>

<p>三十五日 一八〇〇 哨隊司令</p>	<p>各 哨隊</p>	<p>左記書類至急調製し送之度 三月二十日現在在准士官以上者等及各鎮例規所定様 式依之下士官兵現在在員調書 三俸給家族渡請申書</p>	<p>pel</p>
<p>三十五日 哨隊司令</p>	<p>三十五日 哨隊司令</p>	<p>三十五日 哨隊司令</p>	<p>pel</p>
<p>三十一日 哨隊司令</p>	<p>大臣 總長 哨隊長</p>	<p>第一號哨隊 哨隊長 哨隊長 哨隊長</p>	<p>pel</p>
<p>三十七日 哨隊長</p>	<p>司令 大臣 哨隊長</p>	<p>三十五日 哨隊長</p>	<p>pel</p>
<p>哨隊長 哨隊長</p>	<p>哨隊長 哨隊長</p>	<p>本隊ノ行動都合各艇乗員ノ俸給家族渡請 求書ノ直接横須賀經理部長宛手続一取之度</p>	<p>pel</p>

6

<p>二十六日 根司令官</p>	<p>二十六日 根</p>	<p>各艦隊ハ寺島水道出港迄ニ艦名及煙突 色別ヲ塗削スベシ</p>	<p>信 号</p>
<p>二十六日 〇九〇五 所長官</p>	<p>二十六日 所</p>	<p>上月二十六日以降當部隊ノ艦船部隊ハ特ニ心ヲ 以テ察着電報ヲ取上ム但補給工作艦等ハ直接 伊豆半島ニ向ニノ報告通報スルモノトス</p>	<p>信 号</p>
<p>二十六日 一〇一三 所長官</p>	<p>所</p>	<p>ガランビ分遣隊ヨリノ報告ニ依リハ二十六日ガランビ島ニ ロソワヲ圍撃不明潜水艦ニ隻北進ニツアリ</p>	<p>信 号</p>
<p>二十六日 根司令官</p>	<p>根</p>	<p>本日以後一切ノ上陸ヲ禁止セラル</p>	<p>信 号</p>

1432

三	二	二	二	日	西 作 戰 經 過 概 要
三	二	一	〇	所 在	
北 〇 二	北 八 〇	北 〇 五	西 〇 九	午 前 一 〇 時 日	天 氣 風 向
北 〇 二	北 七 〇	北 〇 五	北 〇 五	時	一 般 任 務
隊 艦 合 聯				一 第	
隊 艦 或 哨				務 任 別 特	
備 準 戰 臨				經 過 摘 要	
〇九一五 艦 隊 附 屬 特 務 長 着 任 司令 令 着 任 〇〇 佐 世 保 入 港 哨 三 十				第一 哨 戒 艇 隊 編 成 カル 一九日 横 須 賀 發 佐 世 保 二 向 台 同 航 中	
				記 事	

二 八	二 七	二 六	二 五	二 四
海	航	保	世	佐
一七、五 北 一八	二、三、〇 南東 一四 晴	八、〇 北 一 晴	一、四、五 北 二 曇	一、三、〇 西 二 晴
一、〇、〇 北西 一三	二、二、五 北西 一〇 雨	二、二、〇 南東 一 晴	一、八、〇 北 三 晴	一、八、三 北 三 曇
隊	艦	合	聯	
隊	艇	戒	哨	第一

備	準	戰	臨
一〇三四、アメリカ潜水艦ヲ 発見ス也、大井本陸ノ三五度 一五一哩 一〇〇同右ヲ見失フ	二〇二、寺島水道ニテ、上合同 二五五、寺島水道ニテ、下合同 二五五、寺島水道ニテ、上合同 二五五、寺島水道ニテ、下合同	二〇二、佐保特別陸戰隊ニ個 小隊兼艇ス 二五五、寺島水道ニテ、上合同 二五五、寺島水道ニテ、下合同 二五五、寺島水道ニテ、上合同 二五五、寺島水道ニテ、下合同	主計長着任 燃料貯糧品塔載
		哨三、口 道、向、寺島水	

1434

8

三 口	三 九
雄 高	中
三 五 北 西 三	三 五 北 東 景
三 五 北 西 四	三 五 北 東 晴
隊 艦	合 聯
隊 艇 戒	哨 一 第
機 待 戰 對	
口 九 口 口 高雄十景山行壁 横付	三 口 高雄港外投錨

一 臨戰準備

機関至昭和十六年五月五日聯合艦隊第一哨戒隊

臨戰準備要員施行前狀況

一 役務及役務定員

聯合艦隊附屬上月平日編成定員四一

二 乘員練度

昭和十六年十月十日編成前所備隊附屬其後役務變更

三 兵器機関概要

別頁兵器機関整備及運用記事参照

二 重要機関故障缺損

三 機関修理改造新設

主要作業及工事
作業奉命通達年月日
年月日
年月日
年月日
年月日

兵器機関整備及使用する

械		機		機		機		機		機		兵器機関整備及使用する
送水	復水器	推進器	軸系諸軸	受及軸管	減速装置	主機械	左舷	右舷	左舷	右舷	名稱	
二號	一號	左舷	右舷	左舷	右舷	左舷	右舷	左舷	右舷	左舷	右舷	整備ノ概要
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	現狀
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	使用時數
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	年換保費
一五三〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一三七〇	一三七〇	一三七〇	一三七〇	一三七〇	一三七〇	一三七〇	一三七〇	〃
一五三〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一三七〇	一三七〇	一三七〇	一三七〇	一三七〇	一三七〇	一三七〇	一三七〇	〃

10

部												
罐				通風機		注油器			抽油器			
四號罐	三號罐	二號罐	一號罐	二號	一號	三號	二號	一號	四號	三號	二號	一號
〃	内部掃除	昭和十五年三月五日官房検査第四六五號訓令依り燃焼剤	昭和十五年四月七日官房検査第一三三三號訓令依り燃焼剤	〃	潤滑油入換掃除入	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	良態	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	良態
六一〇	九五〇	〃	〃	一〇〇	一〇〇	四〇〇	一六〇	八七〇	七六〇	七五〇	七六〇	七五〇
六一〇	九五〇	〃	〃	一〇〇	一〇〇	四〇〇	一六〇	八七〇	七六〇	七五〇	七六〇	七五〇

罐

		同装置				給水ポンプ		重油燻 ポンプ及 同装置			
三四號	一二號	補三號	補二號	補一號	三號	二號	一號	四號	三號	二號	一號
附屬装置取外シ上艦内保管中		陸揚保管中		蒸気部礦油塗抹良態	陸揚保管中	蒸気部礦油塗抹良態	附屬装置取外シ上艦内保管中	陸揚保管中	蒸気部礦油塗抹良態	附屬装置取外シ上艦内保管中	陸揚保管中
		五九一〇	九四一〇	九四一〇	六〇一〇	九三三〇	九三三〇	六〇一〇	九四一〇	九四一〇	六〇一〇

機		補				部				
空氣壓縮	機動機関	揚鱈機	舵取機	造氷装置	消揚兼舵	送風機及同装置				
一號	第一號 運貨機	第一號	第一號	第一號	第一號	第八號	第七號	第六號	第五號	第五號
〃	〃	掃除手入	新分解検査	掃除手入	新分解検査	注油分解検査	〃	〃	〃	完
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	良態
	〃	三〇	一九	四六	四六	一八	六〇	六〇	九四	九四
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	〃	三〇	一九	四六	四六	六〇	六〇	九四	九四	〃

其 他					部						
燃料タンク	給水タンク及 予備タンク	水扉及関係 装置	防水隔壁防 水	軍 底	各諸装置	電路金燈	通風電動機	發電機	ボンプ	二 號	艦内保管中
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
完 備	〃	水密部掃除手入	〃	掃除手入	弱部修理	絶縁抵抗測定	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	良 態	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

五機関待機

六燃料清水其他軍需品、補給
燃料潤滑油消耗品搭載

燃料(通又ハ)							搭載場所	月
一號普通油	二號石油	輕油	二號塊炭	一號特別油	二號特別油	三號特別油	所	日
0	0	0	0	0	0	0	佐世保	二
0	0	0	0	1080	3600	0	佐世保	四
0	0	0	0	0	0	0	佐世保	五
0	0	0	0	0	0	0	佐世保	三
0	0	0	0	1080	3600	0	計	

潤滑油(立)					燃料(元)	種別	燃料潤滑油消耗品費額	真水(元)	消耗品(元)	潤滑油(元)		
系	白紋	二號外部礦油	一號外部礦油	二號外部礦油	重油	細目別	計	飲雜水	系	吉綿布	白紋油	二號外部礦油
一八六	〇	二五七	一六七	一二一、五	二七〇、五			一〇〇	系	〇	〇	〇
一八六	〇	二五七	一六七	一二一、五	二七〇、五	年度累計		六〇〇	系	〇	〇	〇
								〇	系	〇	〇	〇

1443

1443

8

用		常		平		
眞水	消耗品	潤滑油			燃料	
飲雜水	古綿布	糸屑	二號外部礦油	一號外部礦油	二號外部礦油	輕油
					二號塊炭	二號石油
						一號普揮油
						童
						古綿布
五五〇	一〇	二〇	〇	三六〇	二〇	一八〇
						四〇
五五〇	一〇	二〇	〇	三六〇	二〇	一八〇
						四〇

總

14

一 臨戦準備

二 工作

自昭和十六年十一月二十日 至昭和十六年十一月三十日 聯合艦隊第一號哨隊

(一) 役務及役務定員

聯合艦隊附屬十一月二十日編成

定員二名
現員二名

(二) 乗員ノ練度

昭和十六年十一月二十日横須賀防備隊附屬ヲ解カレ出港前亮員セラレシ関係上受込其他諸整備ニ付校セラレ殊ニ機関科傳令員トシテ航海當直ニ勤ル等ニ作業ニ從事スル余暇殆ニボナカリキ

二 修理改造ノ新設

記事ナシ

三 工作機械ノ整備使用

記事ナシ

四 重要ナル機械ノ故障欠損

記事ナシ

工数	別	細別	種別	(一) 艦内工作工数	具木	属金	種別	科別
0	治	鍛	金	(一) 艦内工作工数	0	0	海航	(一) 艦内工作工数 (二) 竣工要件数 (三) 竣工要件数 (四) 竣工要件数 (五) 竣工要件数 (六) 竣工要件数 (七) 竣工要件数 (八) 竣工要件数 (九) 竣工要件数 (十) 竣工要件数 (十一) 竣工要件数 (十二) 竣工要件数 (十三) 竣工要件数 (十四) 竣工要件数 (十五) 竣工要件数 (十六) 竣工要件数 (十七) 竣工要件数 (十八) 竣工要件数 (十九) 竣工要件数 (二十) 竣工要件数 (二十一) 竣工要件数 (二十二) 竣工要件数 (二十三) 竣工要件数 (二十四) 竣工要件数 (二十五) 竣工要件数 (二十六) 竣工要件数 (二十七) 竣工要件数 (二十八) 竣工要件数 (二十九) 竣工要件数 (三十) 竣工要件数 (三十一) 竣工要件数 (三十二) 竣工要件数 (三十三) 竣工要件数 (三十四) 竣工要件数 (三十五) 竣工要件数 (三十六) 竣工要件数 (三十七) 竣工要件数 (三十八) 竣工要件数 (三十九) 竣工要件数 (四十) 竣工要件数 (四十一) 竣工要件数 (四十二) 竣工要件数 (四十三) 竣工要件数 (四十四) 竣工要件数 (四十五) 竣工要件数 (四十六) 竣工要件数 (四十七) 竣工要件数 (四十八) 竣工要件数 (四十九) 竣工要件数 (五十) 竣工要件数
0	械	機			0	0	術砲	
0	上	仕			2	0	電機	
0	金	板			2	0	信通	
0	接	溶			0	0	備	
0	理	整			0	0	行	
0	理	管					備	
14	練	訓	属				關	
16	月	均			0	0	作	
9	員	延	木		0	0	務	
1	具	木			0	0	計	
2.5	体	船			0	0	計	
0	水	潜			0	0		
0	理	整						
1	理	管			2	0	計	
14	練	訓			2	0		
16	月	均	具					
9	員	延						

五艦内工作

(一) 艦内工作工数
(二) 竣工要件数
(三) 竣工要件数
(四) 竣工要件数
(五) 竣工要件数
(六) 竣工要件数
(七) 竣工要件数
(八) 竣工要件数
(九) 竣工要件数
(十) 竣工要件数
(十一) 竣工要件数
(十二) 竣工要件数
(十三) 竣工要件数
(十四) 竣工要件数
(十五) 竣工要件数
(十六) 竣工要件数
(十七) 竣工要件数
(十八) 竣工要件数
(十九) 竣工要件数
(二十) 竣工要件数
(二十一) 竣工要件数
(二十二) 竣工要件数
(二十三) 竣工要件数
(二十四) 竣工要件数
(二十五) 竣工要件数
(二十六) 竣工要件数
(二十七) 竣工要件数
(二十八) 竣工要件数
(二十九) 竣工要件数
(三十) 竣工要件数
(三十一) 竣工要件数
(三十二) 竣工要件数
(三十三) 竣工要件数
(三十四) 竣工要件数
(三十五) 竣工要件数
(三十六) 竣工要件数
(三十七) 竣工要件数
(三十八) 竣工要件数
(三十九) 竣工要件数
(四十) 竣工要件数
(四十一) 竣工要件数
(四十二) 竣工要件数
(四十三) 竣工要件数
(四十四) 竣工要件数
(四十五) 竣工要件数
(四十六) 竣工要件数
(四十七) 竣工要件数
(四十八) 竣工要件数
(四十九) 竣工要件数
(五十) 竣工要件数

修 材 料	材 品 名	呼 称	品 名	種 別	(一) 金 屬 材 料	(四) 船 内 工 作 材 料 費 額	時 數	種 別	(三) 船 内 工 作 機 械 使 用 時 數 (時分)
		個	甲 鋼 道	鋼				大 盤 旋	
		"	乙 上 同	鋼				小 盤 旋	
		"	丙 上 同					大 機 螺 鎖	
		"	丁 上 同					小 機 螺 鎖	
		"	甲 鋼 棒					機 錐 形	
		"	乙 上 同					機 雙 螺 絲	
		"	丙 上 同					機 雙 螺 絲	
		"	丁 上 同					押 打 機 功	
		"	甲 鋼 平					研 在 機 磨	
		"	乙 上 同					齒	
		"	丙 上 同					爐 解 熔	
		"	甲 鋼 形 山					シ 器 接 熔	
		"	乙 上 同					器 變 電	
		"	甲 鋼 板					爐 鉛 銅	
		枚	乙 上 同					盤 旋 具 木	
		"	丙 上 同					機 螺 具 木	
		"	鍍 鉛 垂 甲 板 鋼	材				機 鉋	
		"	鍍 鉛 垂 乙 板 鋼					器 水 潛	

1447

杖修理料	杖需料	呼称	品名	種別	杖修理料	杖需料	呼称	品名	種別
	0	個	無目継銅	銅			個	鑿銀	鋼
	0	"	乙上同				"	管鑿	杖
	0	"	丙上同			個	甲棒鑿	真	
	0	"	丁上同	杖			"	乙上同	
	0	個	鐵銀	鐵			"	丙上同	鑰
	0	"	鐵鑰				"	丁上同	
	0	"	鐵白	杖			板	甲鑰	杖
	0	"	棒接熔鐵	熔			"	乙上同	
	0	"	棒接熔鑰				"	丙上同	
	0	"	棒接熔鑄				"	丁上同	
	0	"	棒接熔銅			個	甲棒銅	銅	
	0	"	棒接熔鑄				"	乙上同	
	0	"	劑接熔鑰	接			"	丙上同	
	0	"	劑接熔銅				"	丁上同	
	0	"	劑接熔鑄			枚	甲板銅		
	0	"	劑接熔銅				"	乙上同	杖
	0	"	砂石間	杖			"	丙上同	
	0	立	スリ素炭				"	丁上同	

6

杖 料	修 理	杖 料	品 名	呼 称	品 名	種 別	杖 料	修 理	杖 料	品 名	呼 称	品 名	種 別
●	●	●	江松	個	角	非				飛	トバカ		
○	●	●	同上	"	角	金				枚	板キリブ		
●	●	●	同上	"	角	屬				"	板鉛	其	
●	●	●	同上	"	角	杖				"	板鉛	共	
●	●	●	同上	"	角	杖				"	板鉛		
●	●	●	同上	"	角	杖				"	板鉛		
●	●	●	同上	"	角	杖				"	板鉛		
●	●	●	同上	"	角	杖				"	板鉛		
○	○	○	太丸松	"	丸	杖							
○	○	○	甲太丸松	"	丸	杖							
○	○	○	乙上同	"	丸	杖							
○	○	○	丙上同	"	丸	杖							
○	○	○	甲板松	枚	板	杖							
○	○	○	乙上同	"	板	杖							
○	○	○	丙上同	"	板	杖							
○	○	○	丁上同	"	板	杖							
○	○	○	戊上同	"	板	杖							
○	○	○	己上同	"	板	杖							

材	材	呼	名	品	種	材	材	呼	名	品	種
料	料	称	目	目	別	料	料	称	目	目	別
		枚	丁	椈		〇	〇	枚	庚	松	板
		"	甲	椈	板	〇	〇	"	辛	上同	板
		"	乙	上同		〇	〇	"	甲	松	
		"	丙	上同		〇	〇	"	乙	上同	
		"	丁	上同		〇	〇	"	丙	上同	
		"	戊	上同		〇	〇	"	丁	上同	
		"	己	上同		〇	〇	"	甲	杉	
		"	庚	上同		〇	〇	"	乙	上同	
		"	癸	上同		〇	〇	"	丙	上同	
		"	壬	上同		〇	1	"	丁	上同	
		"	癸	上同		〇	〇	"	戊	上同	
		"	甲	椈	椈	〇	〇	"	己	上同	
		"	乙	上同		〇	〇	"	庚	上同	
		"	丙	上同		〇	〇	"	辛	上同	
		"	丁	上同		〇	〇	"	壬	上同	
		"	戊	上同		〇	〇	"	甲	椈	
		"	甲	椈	椈	〇	〇	"	乙	上同	椈
		"	乙	上同		〇	〇	"	丙	上同	

1450

17

枚 修理 料	枚 高 品	呼 称	名 品	種 別
0	0	枚	硝子硝	硝子
0	0	"	乙上同	類
0	0	"	丙上同	類
0	0	瓶	甲螺眞	釘
0	0	"	乙上同	
0	0	"	甲螺鉄	
0	0	"	乙上同	
0	0	"	釘銅	
0	0	"	釘鉄	類
0	0	"	スニフ	具
0	0	"	クツラ	
0	0	"	テパ	
0	0	個	鋸	
0	0	立	のり	
0	0	枚	硝子硝	人他
0	0			
0	0			

1951

18

兵器部

二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	月日
日	土	水	火	木	金	土	日	月	曜	所
高雄	飛海中					佐世保				在
發煙缶煙藥充填五〇五(十缶)	爆雷戰教練三爆雷投下核操法ヲ行フ	爆雷落下傘一型受入	八八式發煙缶修理完成取付	導火線二號爆破鈎改一陸用導線受入	消耗兵器九五式爆雷陸用爆破藥安全	通船佐世保港務部へ陸揚	嚙部へ陸揚	八八式發煙缶修理気象試驗ノ為佐世保軍	嚙部へ陸揚預入	出師前臨戰準備トシテ裝模演習砲佐世保軍
										記
										事

八 醫務衛生部
 一 日誌 (自二二〇〇)

月	日	所 在 天 候	氣 正	風 氣	温 度	事 記
二	一	佐世保	曇	七六・八二	一一・二五	半船上陸許一
二	一	〃	〃	七六・八〇	一七・〇	清水塔載
二	一	〃	〃	七六・七五	一五・七	治療品塔載 糧食塔載
二	一	〃	晴	七七・三二	一七・五	清水塔載 陸戰隊便乘(佐鎮三特支名)
二	一	高雄	晴	七六・七五	二五・〇	清水塔載 糧食塔載

(二) 衛生状況
 受療患者无無く一般ニ良好ナリ

1453

20

三〇日	二九日	二八日	二七日	二六日	二五日	二四日	二三日	二二日	二一日	二〇日	一九日	九月	
日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	曜	九會川經理	
高雄	航海中		佐世保				航海中		所		在		
生糧品酒俣物品塔載					佐世保經理部より臨時運事費一五〇〇〇〇圓受込		生糧品貯糧品塔載				被服物品酒俣物品塔載	記	事

1454



軍極秘

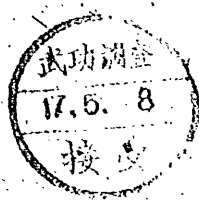
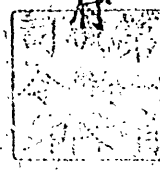
一哨機密第八號ノ二

自昭和十六年五月一日
至昭和十六年五月三日

2 / 第一哨戒艇隊
第一號哨戒艇

戰時日誌

一月一日送付



役	所
務	管
聯合艦隊	横須賀鎮守府
附屬	

目次

- 一 経過
- 二 人員の現状
- 三 重要命令達報告通報
- 四 作戦経過概要
- 五 核関科 工作科
- 六 兵器部
- 七 醫務衛生部
- 八 會計經理

一、経過

十月二十日第一號、第二號哨戒艇ヲ率テ高雄入港臨戰準備對戰待機ヲス二日高雄港外ノ哨戒ニ出動、三日入港、五月八日與米ニ對シ宜戰ハ詔喚發セラル第一哨戒艇隊第一號哨戒艇第二號哨戒艇ハ之ニ先テ司令セテ六日呂宋偵察ニ集テ七日出撃シ、菲島部隊第三急襲隊トシテ菲島ハタニ島急襲攻略作戰ニ參加シ作戰ニ關シ第一根據地隊司令官ノ指揮ト入ル八日ハタニ島ヲ攻略、十日カミギン島ヲ占領、フガ島ヲ檢索ス。十四日奄美大島着、十七日第一號、第二號哨戒艇ヲ率テ奄美大島出撃シ菲島部隊第四護衛隊トシテ陸軍輸送船團ヲ護衛シラモニ灣上陸作戰ニ參加、作戰ニ關シ第一根據地隊司令官ノ指揮ト入ル二十四日陸軍ヲラモニ灣ニ揚陸シ引續キ灣内外ノ哨戒配

備ニ就ク

二十九日ハラオ着、燃料、眞水、糧食ヲ

補給ス

全期間中第三五號乃至第三九號哨戒艇ハ分離行動中

ニテ一回モ合同セズ

二、人員ノ現状

(1) 隊 職員

(五月一日現在)

職	官	氏名	衆艇
司令	海軍大佐	西川 速水	一号
機関長	海軍機関少佐	堀切 春吉	二号
主計長	海軍主計中尉	菊池 康太	一号
隊附	海軍主計兵曹長	岡崎 和 市	一号

日	日	日	日	日	隊	艇	職
榎	榎	津	常	航	砲	艇	配
核	関	水	砲	海	術	長	置
击	長	雷	長	長	長	長	置
長	長	長	長	長	長	長	置
海	海	海	海	海	海	海	官
軍	軍	軍	軍	軍	軍	軍	官
核	核	兵	特	豫	豫	豫	官
関	関	曹	務	備	備	備	官
兵	特	長	少	中	中	大	官
曹	務	長	尉	尉	尉	尉	官
長	尉	長	尉	尉	尉	尉	官
山	伊	太	渡	重	黒	東	氏
本	藤	田	邊	廣	木	實	氏
耕	良	定	啓	一	亮	實	氏
策	平	雄	一	敏	己	夫	名

士官以上
(十一月一日現在)

合計	主計科	看護科	工作科	機測科	兵科	兵種 等級
一五				八	七	一等下士官
八				三	五	二等下士官
一五	一	一		三	一〇	三等下士官
五七	三		一	一四	五九	一等兵
一七			一	六	一〇	二等兵
一三	二			七	一三	三等兵
一三四	六	一	二	四一	八四	合計

(ハ) 下士官兵
(土) 一月一日現在

1460

24

重要命令達報告通報

祭日時 元	二月一七三〇 G/F 長官	六月一六〇〇 G/F 長官	六月一八五〇 G/F 長官	七月〇二〇〇 G/F 長官
受発日時 (通報)	G/F 三日	G/F 七日	G/F 七日	G/F 七日
令達報告	G/F 核密第六七六番電 G/F 電令作第一〇号 新高山登一三〇八	略 G/F 核密第七七五番電 本電祭令時刻三月七日〇〇〇〇	G/F 核密第七七九番電 祭令日時七日止子 G/F 核密第七七五番電別電 勅語(略)	G/F 核密第七七六番電 G/F 電令第一三號 皇國興廢此ノ聖戰ニ在リ粉骨碎身各 員其仕ヲ完クセヨ
種別	pel	pel	pel	pel

<p>七日一八〇〇 二根司令官</p>	<p>七日一八〇〇 二根</p>	<p>本作戰中速力ヲA速力トス 本日一八〇〇以後A速力二十分間待機、全速 一時間待機トナセ ハタシニ島攻略以後、横圍待機ハ各自機圍長所 定トス</p>	<p>信</p>
<p>七日一八〇〇 二根司令官</p>	<p>七日一八〇〇 二根</p>	<p>明日一上陸ヲ乙案トス 第一警戒航行序列ニ占位セヨ</p>	<p>信</p>
<p>八月〇四一五 G/F 長官</p>	<p>八月〇四一五 G/F</p>	<p>アメリカ亞細亞艦隊對日開戦ヲ奉令セリ 哨戒艇ハバスコイ五里以内ヲ移動哨戒セヨ 哨區左ノ通り、バスコイ教會ヲ通ルル以北哨一 以南哨二</p>	<p>信</p>
<p>八月一八〇〇 二根司令官</p>	<p>八月一八〇〇 哨戒隊司令</p>	<p>第一哨戒艇隊司令ハ其一艇ヲカミギニ島西岸 水上ニ派遣シ不時着セル譜岐丸飛行機ノ救助並ニ 此ノ終極任務ヲシムベシ</p>	<p>信</p>

<p>十一日(八) 十一日</p>	<p>哨隊司令 三根司令官</p>	<p>キモノト認ム 我八節以上の上り得ん次ノ行動作業ノ關係ハ今 夜半哨區ヲ離シ各長又島ニ向フ</p>
<p>九日(六) 九日(六)</p>	<p>哨隊司令 三砲隊司令</p>	<p>ハタン全ク射敵行爲アリ急ニ儘ニ占領セリ 尚ハタンノ占領ニ鑑ミ進入時刻ハハタンヲ通過スル 昨夜飛行機搜索ノタカカニハタンヲ通過スル 十五ノ日同島モ同様ト認ム</p>
<p>九日(五) 九日(五)</p>	<p>哨隊司令 三砲隊司令</p>	<p>ハタン島ノ占領ハハタンヲ通過スル 中ニ敵大ニ其隊ヲ進入シ影ヲ見ル者尙無 從順ニシテ何昇敵急ニハタンヲ表示ス 哨隊場敵機ハハタンヲ通過スル 此ノ時ハタンノ被撃セ</p>

26

<p>大日一〇八〇 一機司令官</p>	<p>十八日〇八〇 哨隊司令</p>	<p>其ノ官ハ七〇度方向ノ同航ノ南船ヲ確メヨ</p>	<p>信 号</p>
<p>哨二</p>	<p>哨隊司令</p>	<p>南方ヨリ見ルニナギリヤシノ四高地北側ニワタリ東約 ニキロニ達スル草原アリ飛行場トナシ得ベシ</p>	<p>信 号</p>
<p>十日一九〇〇</p>	<p>哨二</p>	<p>フカ島ノ状況 海岸線不良ニシテ種々試ミシモ揚陸不可能ナリ</p>	<p>信 号</p>
<p>十日一〇五五</p>	<p>哨二</p>	<p>水船及敷手セリ使用爆雷教回 人員兵器異状ナシ</p>	<p>信 号</p>
<p>十日一〇一〇</p>	<p>哨隊司令</p>	<p>昨夜九日一四三ニハスノ教會ハ二八一度二一五折ニテ潜 体捜索中 小學校アリテ米人ノ教師アリタル形跡アリモ米人不在 約ニ〇度ノ部部落、四名ノ土民アリモ敵影ナシ</p>	<p>信 号</p>
<p>哨二</p>	<p>哨隊司令</p>	<p>カミギン島ノ状況 道走セル兵ノ掃蕩、陸軍ニテ行ハルノ予定</p>	<p>信 号</p>

<p>十八日〇九三〇 哨戒隊司令</p>	<p>十八日〇九三〇 哨戒隊司令</p>	<p>十八日〇九三〇 海軍徴備船神功丸ニテ佐世保ヨリハラヲ向ケ航 行中夕刻ヲテ南東ニ航行シタル後ハラヲ向ケ根 命ジオケリ</p>	<p>号 信</p>
<p>十九日一六〇〇 海風司令</p>	<p>十九日一六〇〇 第四護衛隊</p>	<p>十九日一六〇〇 警戒艦艇、晝夜間航行隊形変更ハ從前通 薄暮終期時ニ行フモノトス</p>	<p>号 信</p>
<p>十九日一三二五 一浪司令官</p>	<p>十九日一三二五 第四護衛隊</p>	<p>途中合同スベキ艦船ノ合同豫定 第一、第二駆潜艇 ニ五日午後 ニ夕見丸 ニ五日午後 三早鞆、イクシマ丸、蒼鷹、雪風、時津風ニ掃</p>	<p>号 信</p>
<p>十八日一七〇〇 一浪司令官</p>	<p>十八日一七〇〇 第四護衛隊</p>	<p>護衛隊信令第三號 明日十九日より晝間ノ序列ヲ第二警戒航行 序列ニ改ム</p>	<p>号 信</p>

海風 二十三日一三三〇	24dg 二十三日一三〇〇	海風司令 二十三日一三〇〇	根司会官 二十三日〇九〇〇 二十四駆
第四護隊 二十三日一三三〇	第四護隊 二十三日一三〇〇	第四護隊 二十三日一三〇〇	第四護隊 二十三日〇九〇〇 哨隊司令
泊地進入隊形作レ	我今ヨリ爆雷攻撃ヲナス	此ノ場合十六駆逐隊ハ豫メ分擔哨区ノ探掃ヲ行フモノトス二十四駆逐隊トノ交代ハ毎日一三〇〇ノ豫定	一〇〇〇針路一八〇度一九五頃針路二七〇度ト明日〇六〇〇頃B兵ニ達スル如ク行動セヨ 我爆雷攻撃ヲナス
号信	号信	号	号信

<p>三月一三四。 海風</p>	<p>三月一三四。 第四護衛隊</p>	<p>第四護衛隊泊地進入隊形、制り方、要領ヲ左 ノ通定々 一四。〇。嚮導艦、泊地進入隊形作レニ依リ各艦 艘、防雷具並ニ防磁雷航行ヲ行フ</p>	<p>号 信</p>
<p>三月二〇五。 一隊司令官</p>	<p>三月二〇五。 第四護衛隊</p>	<p>泊地進入用意</p>	<p>号 信</p>
<p>三月四〇三。 第四掃</p>	<p>三月四〇三。 一隊</p>	<p>掃海終了、核雷捕捉感知セズ</p>	<p>号 信</p>
<p>三月一五〇。 第四護衛隊 指揮官</p>	<p>三月一五〇。 第四護衛隊</p>	<p>諸情報並ニ数日前潜水艦乗員アラバト島ニ 上陸セシ事、安真等ニ徴シ敵潜水艦ヲモシ灣又、其 ノ附近ニ在リト確實、各部隊特ニ対潜水艦警戒ヲ 嚴ニスルト共ニ哨戒部隊、極力之ヲ察見、敵ヲ滅 スルベシ</p>	<p>号 信</p>

28

<p>二十四日二二〇〇 哨或隊司令</p>	<p>二十四日二二〇〇 哨</p>	<p>敵偵探艇三ノ下リ各艇同時發信ハ互ニ防衛スルニ依リ左ノ通定カラル 哨偶數時ノ一時間ニ哨奇數時ノ一時間</p>	<p>信</p>
<p>二十四日二二〇〇 第四護衛隊 指揮官</p>	<p>二十四日二二〇〇 第四護衛隊</p>	<p>哨隊ノ行動左ノ通り 二十四駆逐隊十六駆逐隊及第一哨或艇隊ハ二十四 駆逐隊司令ノ指揮下ニ二十六日〇八〇〇以後哨区 ヲ發ハラスニ同航次回任務ニ就クベシ</p>	<p>信</p>
<p>二十五日二二〇〇 哨或隊司令</p>	<p>二十五日二二〇〇 哨或隊司令</p>	<p>夕十四一信令九 一特令アルヲ哨区ノ權左ノ通り 一区内第一哨或隊ニ三區十六駆逐隊</p>	<p>信</p>

敵飛行機ハ早朝夕刻食事時刻等ニ來
襲ノ數多シ之等ノ時間特ニ防空警戒ヲ嚴ニ
スベシ

<p>六根司令官 三十一日</p>	<p>馬要副官 三十一日 八〇〇</p>	
<p>68司令官 長官</p>	<p>飛島部隊 三十一日 一〇〇</p>	
<p>艦橋直下附近ニテ亀裂シアルモノ、如ク前後</p> <p>燒損状況概シ第三十號哨戒艇ト同程度ニシテ</p> <p>第三十號哨戒艇敵彈ニ依ル破損及火災ニ依ル</p>	<p>第三十四號哨戒艇 第三十五號哨戒艇ハ五月三十一日</p> <p>迄ニカハオニ同航スベシ</p>	<p>四選川風(海風)</p> <p>一 明軒ヲモシ湾外糸ハオニ同航ス各隊艦ハ</p> <p>二十六日〇八〇〇丁莫ニ於テ合同スベシ</p> <p>二 右回航中左ニ依リ計潛掃掃ヲ行フ</p> <p>「A」体形右ヨリ二十四駆逐隊、十六駆逐隊、一哨戒隊</p> <p>畫開四軒夜間ニ料、速力十六節、</p> <p>「B」開始時ノ針路、六〇度</p> <p>二十八日一八〇〇頃ハラ才着ノ豫定</p>
	<p>100</p>	<p>長</p>

29

<p>三白丸ニ〇〇 哨三主艇長</p>	<p>三上日五言 哨隊司令</p>	<p>哨隊司令 部別個ニ動搖シツ、アリ兵器、機関特ニ異状ヲ 認めズ、備砲及機銃使用可能 後方隔壁上甲板線ヨリ、ニ至ル外銃ニ電 裂ヲ生ジ之カ為船体ハ常ニ前後部別個ニ動 揺ニ移動ホシ、為、第一兵室ヨリ艇首 ニ至ル間ヨリ浸水ニアリ、機関機械室ノ外 ニ異状ヲ認めズ ニ番砲、使用可能</p>
<p>三白丸ニ〇〇 哨三主艇長</p>	<p>三上日五言 哨隊司令</p>	<p>機関第六番電 少島第二次攻略戦ニ於テ上月ニ五日戦傷志篤 絶望ニ付特殊任用進級茲ニ叙位叙勲具申方 可然御願ス 海軍兵曹長 堀玉一男(胸部貫通銃創) 心臓</p>

<p> 損傷、海軍隊閩兵曹長横田乙市(頭部貫 通銃創) 腦損傷、海軍一等隊閩兵曹長阪本治 兵衛(吳志保六五四〇)(頭部貫通銃創) 腦損傷 海軍一等隊閩兵曹田收宗(吳志保一三二一)(頭部 貫通銃創) 腦損傷、海軍一等水兵井津好勝 (吳志保二九九九)(全身燒失) 海軍一等水兵福垣 友直(吳志保三八七九)(全身燒失) 海軍一等水兵 上武 忠(吳志保三九六六)(全身燒失) </p>

1472

38

四	三	二	一	日
雄			高	所
北 一五 曇	北 三六 晴	北 二六 雨	北 二八 晴	午前十時 視 氣 風 天 氣 象
北 七〇 晴	西 三三 晴	北 二六 曇	北 四〇 曇	日没時 風 速
隊艦合聯				一般任務
隊艇戒哨一第				
任務別特				經過概要
	高 雄 入 港 横 作	一 二 〇 五 高 確 港 外 哨 戒 配 備 シ タ	一 二 六 出 港 對 戰 待 候	高 確 警 泊
				記事

四作戦經過概要

九	八	七	六	五
	島	察	高	高
東 二七〇 三	西 二七〇 二	東 二四〇 二	北 二〇〇 二	北 二二〇 三
東 二九〇 五	南東 二七〇 九	西 二七〇 三	北 二四〇 五	北 二二〇 三
隊 艦 合 隊				
隊 艦 隊 隊				
(隊 部 島 隊)				
(隊 艦 艦 隊)				
一八四五時ニト合同ス	一六三〇時三砲艦隊ト合同ス	一八〇四出撃	一八四五時即時待機	一七〇三三時ト共ニ高雁出港
セルモ遂ニ飛来、機見ムルニ至ラズ	〇九〇〇カ、島附近ヲ搜索	〇八四五用戰ニ突スル勅諭傳達	一六三〇山崎出撃	一六四二山崎出撃
	其ノ後泊地察取、機見ムルニ至ラズ	〇七四九ハ、島バルアルト告	急襲隊トシテ飛	洛務隊ニ向テ
	島ニ不時着セ、讚岐丸船行機ヲ	二進入大架ニ、隻降下、砲隊	島部隊第三	
	救助ニ向テ	八佐艇ニ特ニテ小隊ヲ揚陸占領ス	島ハ、島攻路	
		陸上ニハ敵影ヲ見ズ	作戦ニ参加ス	
		三四五隻隊隊、機見ムルニ至ラズ		

0201

1453

一五	一四	一三	一二	一一	一〇
美 奄		〇九 二二			三〇 カミヤ 島 〇八 〇
北 九 〇 三	北 〇 五 三	北 四 〇 八	北 四 五 二	北 七 〇 二	東 八 〇 五
北 一 八 五	東 三 〇 三	東 二 四 五	東 二 六 〇	北 二 五 〇	東 二 八 〇
隊		艦		一 第	
隊		艇		一 第	
(隊 護 四 第)		(隊 襲 急 三 第)			
〇八 一五 〇	〇九 二二 入港 三三 五〇	〇九 二二 美大島 三三 五〇		二一 五五 向	〇八 三〇 カミヤ 島 三二 二進 入 陸 隊 揚 陸 同 島 占 領 二 三 〇 陸 隊 取 扱 人 員 兵 器 要 件 三 二 〇 第 三 隊 区 非 潜 掃 揚 二 從 事 人 金 力 一 時 開 待 夜 十 六 節 即 時 待 候
〇八 一五 〇	〇九 二二 美大島 三三 五〇	〇九 二二 美大島 三三 五〇		二一 五五 向	〇八 三〇 カミヤ 島 三二 二進 入 陸 隊 揚 陸 同 島 占 領 二 三 〇 陸 隊 取 扱 人 員 兵 器 要 件 三 二 〇 第 三 隊 区 非 潜 掃 揚 二 從 事 人 金 力 一 時 開 待 夜 十 六 節 即 時 待 候

1275

二二	一一	一〇	一九	一八	一七	一六
					五	島大
二南 九八 〇七	二南 八七 三七	二南東 八七 二二	二南東 二五 二二	二北 九〇 二五	二北 八〇 三	二北東 一八 二二
三南 九〇 〇四	二南 九九 五七	二南 八八 五七	二南東 二六 五〇	二東 四二 五二	二北西 一九 八八	二北 七八 五三
隊 艦 合 解						
隊 艇 戒 哨 一 第						
(隊 部 島 菲)						
(隊 襲 急 三 第)						
				向 神功丸 九ニテ 佐世保 ヨリ ハラ オニ フ モ ナ リ	載 二四〇〇 白令丸 より 生糧品 搭	
				船一ヲ 臨檢ス、 右ハ海軍 徴備船 ノハ、〇長 良只ノ命 ニ依リ 同航ノ商 船ニテ 護イニ ラモ ン 上直ス バク 一五 一〇 奄美 大島 出		

二五	二四	二三
二北	二七	二九
七北 九、一〇 三、	九北 二八、 〇	九南 一九、 〇
二北 六、九 五、	九北 二四、 〇	九北 一九、 〇
隊	艦	隊
隊	艇	隊
(隊	部	隊)
(隊	衛	隊)
<p>ラモシ内、外ノ哨戒ニ從 〇九一五通、拜武 一五二〇抄、九ニ機、大群ヲ 掃收、二出糧、品ヲ補給ス</p>	<p>補給ヲナス 一七三〇早、頼ヨリ燃料、補給 ヲ終、以テ哨、区ノ哨、戒、配、備 ニツク</p> <p>一三三〇五、意、九ニ機、件、眞、火、 補給ヲナス</p>	<p>〇九〇〇ニ、四、駆、逐、隊、艦、面、ノ、右、方、ヲ 爆、雷、攻、撃、ヲ、ナス</p> <p>〇九三〇〇、駆、潜、隊、艦、面、ノ、後、方、ニ、ヲ 爆、雷、攻、撃、ヲ、ナス</p> <p>一、二、〇、〇、二、十、四、駆、逐、隊、爆、雷、攻、撃、ヲ ナス</p> <p>二、〇、五、〇、向、地、進、入、用、意</p>
	<p>一三、五、敵、爆 撃、隊、ニ、未、發 ニ、味、方、輸、送 艦、面、ヲ、爆、撃 セル、毛、被、害、ナシ</p>	

4277

三一	三〇	二九	二八	二七	二六
才	才	才	才	才	才
北晴 三〇	南東曇 二六、五	南東晴 二八、八	東晴 三〇、〇	北兩 二三、〇	北曇 七八、九
北晴 三〇、〇	北西晴 三〇、〇	南西晴 三〇、五	南東晴 三一、五	南東曇 二八、五	北東曇 六八、二
隊艦合隊					
(隊部島)					
ハヲ才ニ警泊	ハヲ才ニ警泊	一二五〇間宮ヨリ糧食ヲ搭載ス	補給ヲ受ク	社潜掃蕩ニ従事	ハヲ才ニ向ケヨリ ハヲ才ニ向ケヨリ ハヲ才ニ向ケヨリ ハヲ才ニ向ケヨリ

33

機關自昭和十六年十二月一日聯合艦隊第一哨戒艦隊
(第一號哨戒艦)

一 臨戰準備

臨戰準備實施前狀況

一 役務及役務定員

聯合艦隊附屬十月二十日編成定員四〇

二 乘員練度

昭和十六年十月二十日編入以來各個艦効力及編
隊効力等概観を以て之を以て機関効力等概
観を以て之を以て機関効力等概観を以て之を以て

三 兵器機関概要

別頁兵器機関整備及使用ノ記事参照

二 重要ナル機関ノ故障缺損

十

三 機関ノ修理改造新設

十

主要作業及工事 作業名 年月日 場所			

四兵器機関整備及使用

送水ポンプ		復水器				推進器		受及軸管		軸系諸軸		減速装置		主機械		兵器機関名稱	整備概要	現狀	使用時數	年積累計
一號	二號	左舷	右舷	左舷	右舷	左舷	右舷	左舷	右舷	左舷	右舷	左舷	右舷	左舷	右舷					
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	汽	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	備	〃	〃	〃	〃
五二五〇	五二八〇	五二五〇	五二八〇	四七〇一	四七〇一	四七〇一	四七〇一	四七〇一	四七〇一	四七〇一	四七〇一	四七〇一	四七〇一	四八一一	四八一一	〃	〃	〃	〃	〃
五二五〇	五二八〇	五二五〇	五二八〇	四七〇一	四七〇一	四七〇一	四七〇一	四七〇一	四七〇一	四七〇一	四七〇一	四七〇一	四七〇一	四八一一	四八一一	〃	〃	〃	〃	〃

1480

34

1480

罐		通風機		注油泵 及油冷器			抽氣			
四號	三號	二號	一號	三號	二號	一號	四號	三號	二號	一號
昭和三十二年四月五日官房機密第一三三號訓令依及機密開	昭和三十二年四月五日官房機密第一三三號訓令依及機密開	昭和三十二年四月五日官房機密第一三三號訓令依及機密開	昭和三十二年四月五日官房機密第一三三號訓令依及機密開	昭和三十二年四月五日官房機密第一三三號訓令依及機密開	昭和三十二年四月五日官房機密第一三三號訓令依及機密開	昭和三十二年四月五日官房機密第一三三號訓令依及機密開	昭和三十二年四月五日官房機密第一三三號訓令依及機密開	昭和三十二年四月五日官房機密第一三三號訓令依及機密開	昭和三十二年四月五日官房機密第一三三號訓令依及機密開	昭和三十二年四月五日官房機密第一三三號訓令依及機密開
良	良	良	良	良	良	良	良	良	良	良
三三五〇	三三七〇	三三五〇	三三七〇	三三五〇	三三七〇	三三五〇	三三五〇	三三七〇	三三五〇	三三七〇
三三五〇	三三七〇	三三五〇	三三七〇	三三五〇	三三七〇	三三五〇	三三五〇	三三七〇	三三五〇	三三七〇

罐

重油燭燈		ポンプ及同		給水ポンプ		装置	
一號	陸揚保管中	一號	陸揚保管中	一號	陸揚保管中	一號	陸揚保管中
二號	附屬装置取外艦内保管中	二號	附屬装置取外艦内保管中	二號	附屬装置取外艦内保管中	二號	附屬装置取外艦内保管中
三號	蒸気部燭油塗抹良態	三號	蒸気部燭油塗抹良態	三號	蒸気部燭油塗抹良態	三號	蒸気部燭油塗抹良態
四號	"	四號	"	四號	"	四號	"
補一號	陸揚保管中	補一號	陸揚保管中	補一號	陸揚保管中	補一號	陸揚保管中
補二號	蒸気部燭油塗抹良態	補二號	蒸気部燭油塗抹良態	補二號	蒸気部燭油塗抹良態	補二號	蒸気部燭油塗抹良態
補三號	"	補三號	"	補三號	"	補三號	"
三二號	陸揚保管中	三二號	陸揚保管中	三二號	陸揚保管中	三二號	陸揚保管中
三四號	附屬装置取外艦内保管中	三四號	附屬装置取外艦内保管中	三四號	附屬装置取外艦内保管中	三四號	附屬装置取外艦内保管中

35

機		補		部	
送風機	及同装置	汽機	造氷装置	汽取機	揚船機
五號	六號	七號	八號	一號	二號
完	"	"	"	蒸気部 油塗抹	蒸気部 分解検査 並に 油塗抹
備	"	"	"	"	掃除手入
良態	"	"	"	"	"
三二六	三二七	三三五	三三五	二八	四五
〇	〇	〇	〇	〇	〇
三二七	三二七	三三五	三三五	二八	四五
〇	〇	〇	〇	〇	〇

身					部			
他	防水隔壁 水扉及関 取装置	燃料タンク	給水タンク 予備水タンク	各諸管 装置	単底	通風機	発電機	ポンプ
/	/	/	/	/	/	/	ピストン 環玉	ニ號
"	水密部掃除手入	光備	"	漏洩部修理 良態	掃除手入	絶縁抵抗測定	注油検査 刷手手入	艦内保管中
"	"	"	"	"	"	"	良態	"
/	/	/	/	/	/	/	田二一〇	田二一〇
/	/	/	/	/	/	/	田二一〇	田二一〇

3.17

任務	投銷 月日	発着地 名	投銷 月日	原 速	待機 種別	實施 時間
哨戒任務	12-2	高雄	12-3	12.0	12節即時待機	20-60
特別任務	12-6	高雄	12-11	12.0	12節30分待機 全力即時待機 16節全上	3-30 26-18 12-0
回航	12-12	高雄	12-14	12.0	16節即時待機	84-0
		奄美大島		0		
燃料搭載	12-15	奄美大島	12-15	12.0	12節30分待機	15-30
第四護衛隊	12-17	奄美大島	12-24	8.0	全力20分待機	17-10
哨戒任務	12-24	ラモン	12-26	12.0	16節30分待機	8-50
回航	12-26	ラモン	12-29	12.0	全上	92-39
		ラモン				
						(終)

0	0	0			0	回航	一
0	0	0	0	0	0	ラモン	二
0	0	0	0	0	0	ラモン	四
0	0	0	0	0	0	ラモン	二
0	0	0	0	0	0	ラモン	九
九	二	五	0	0	0	八	計
四	0	0	0	0	0	七	
0	0	0	0	0	0	四	

1485

燃料							搭載場所	月	日
一號外油	一號内油	二號塊炭	輕油	二號石油	一號普揮	重油			
0	0	0	0	0	0	0	高雄	一	
0	0	0	0	0	0	0	全上	四	
五〇	七二〇	五〇	0	0	0	二二〇	燧	一五	
四〇〇	0	0	0	0	0	二二〇	ラ	二四	
0	0	0	0	0	0	二〇九	バ	二九	
九四〇	二二〇	五〇	0	0	0	八七四	計		

五、機関待機
 別頁機関待機實施表参照
 六、燃料清水其他軍需品補給
 燃料潤滑油消耗品搭載

用 勤 行					燃 料 種 別	燃 料 種 別 細 目 別	燃 料 種 別 細 目 別 計	年 度 累 計	消 耗 品 種 別		真 水 飲 雜 水		潤 滑 油 種 別	
潤 滑 油 意									占 綿 布	糸 屑	糸 屑	飲 雜 水	白 絞 油	號 外 部 礦 油
系	白 絞 油	號 外 部 礦 油	號 外 部 礦 油	號 外 部 礦 油	重 油				0	0	0	0	0	0
1	0	1	7	1	7				0	0	0	0	0	0
0	0	1	5	1	0				0	0	1	0	1	0
0	0	1	5	1	0				0	0	3	0	1	0
1	0	1	7	1	7				0	0	1	0	0	0
0	0	1	5	1	0				0	0	3	0	1	0
0	0	1	5	1	0				0	0	6	0	2	0
0	0	1	5	1	0				0	0	6	0	2	0

1487

38

用		常							平
眞水	消耗	潤滑油			燃料				
(冠)	(冠)								
飲	古	糸	二號	一號	二號	輕	一號	皇	右
雜	綿	屑	外部	外部	塊	石	普	油	綿
水	布		礦	礦	炭	油	揮		布
六	一	一	一	一	六	三	一		一
八	〇	〇	〇	〇	〇	四	七	〇	三
						二	一		〇
六	一	一	一	一	六	三	一		一
一	〇	〇	〇	〇	〇	四	七	〇	三
						二	一		〇

(總)

39

一 臨戰準備

(一) 任務及役務定員

聯合艦隊附屬 十月十日編成

現員 二名

(二) 乗員ノ練度

機頭科傳令員トシテ航海並直ニ勤務スル傍ニ作技術ノ向上ニ努メシムアリ

二 修理改造ノ新設

記事ナシ

三 工作機械ノ整備使用

記事ナシ

四 重要ナル機械故障缺損

記事ナシ

昭和十六年十一月一日
至昭和十六年十二月三十一日

聯合艦隊第一哨戒艦隊

(第一號哨戒艦)

数五	別細	種別
3	治鍛	金 屬
0	械機	
0	上仕	
8	金板	
0	接熔	
3	理整	
0	理管	
30	練訓	
12	助一人 紅研	
30	員人進	
5	具木	木 具
3	体胎	
0	水葦	
3	理整	
0	理管	
31	練訓	
15	助一人 紅研	
30	員人進	

(二) 艦内工作件数

具木	屬金	種別
0	1/1	海航
0	0	術砲
2/2	0	雷機
0	1/1	信通
2/2	1/1	用運
0	/	行飛
/	/	傷整
0	4/4	開機
0	0	作工
0	0	務醫
2/3	1/1	計主
6/7	8/8	合計

(一) 艦内工作件数 (竣工件数 要求件数)

五艦内工作

修理 材料	数量	単位	品名	種別	→(四) 艦内 工作 找料 費額	数時	別種	(三) 艦内 工作 機械 使用 時數 時分
0	0	個	甲鋼道	鋼	金 屬 找 料	/	大盤旋	艦 内 工 作 機 械 使 用 時 數 時 分
0	0	∴	乙上同			小盤旋		
0	0	∴	丙上同			機機鎖		
0	0	∴	丁上同			機機鎖		
0	0	∴	甲鋼棒			機機鎖		
0	0	∴	乙上同			機機鎖		
0	0	∴	丙上同			機機鎖		
0	0	∴	丁上同			機機鎖		
0	0	∴	甲鋼平			機機鎖		
0	0	∴	乙上同			機機鎖		
0	0	∴	丙上同	找	1-30	押打切 機機鎖	機 機 鎖	
0	0	∴	甲鋼山		6-0	機機鎖		
0	0	∴	乙上同			炸解熔		
0	0	∴	丙上同			機機鎖		
0	0	∴	甲鋼板			機機鎖		
35	0	∴	乙上同			機機鎖		
0	2	∴	丙上同			機機鎖		
0	0	∴	鍍盆 甲板			機機鎖		
2	2	∴	乙上同			機機鎖		

找修 料理	找重 料品	呼 称	名品	種 別	找修 料理	找重 料品	呼 称	名品	種 別
0	0	個	無見純 管鋼	鋼	0	0	処	鑿鑄	鋼
0	0	"	乙上同		0	0	"	管鋼	找
0	0	"	丙上同		0	0	個	厚輪真	真
0	0	"	丁上同	找	0	0	"	乙上同	
0	0	処	鐵鑄真	鐵	0	0	"	丙上同	鑄
0	0	"	鐵鑄真		0	0	"	丁上同	找
0	1	"	鐵白	找	0	0.5	板	甲板鑄	找
0	0	"	棒接熔鉄		0	0	"	乙上同	
0	0	"	棒接鑄真	熔	0	0.5	"	丙上同	
0	0	"	棒接物鑄		0	0	"	丁上同	
0	0	"	棒接熔		0	0	個	甲板銅	
0	0	"	棒接電	找	0	0	"	乙上同	鋼
0	0	"	棒接鑄真		0	0	"	丙上同	
0	0	"	棒接鑄		0	0	"	丁上同	
0	0	"	棒接物鑄	找	0	0	枚	甲棒鋼	找
0	0	"	棒接熔		0	0	"	乙上同	
0	0	"	砂 研		0	0.5	"	丙上同	
0	0	立	スダ素酸		0	0	"	丁上同	



二

找修 料理	找需 料理	呼 称	名 品	種 別	找修 料理	找需 料理	呼 称	名 品	種 別
0	0	個	甲板ジエ	角 非 金 屬 找 料			姓	トバーカ	其 共
0	0	ニ	乙上同		0	0	板	板キリダ	
0	0	ニ	丙上同				枚	板鉛垂	
0	0	ニ	丁上同				枚	帯板	
0	0	ニ	甲角杉				枚	乙上同	
0	0	ニ	乙上同		0	0	姓	板 鉛	
0	2	ニ	丙上同				姓	金地鉛垂	
0	1	ニ	丁上同				姓	金合色白	
		ニ	甲丸杉	丸 大 找					他
		ニ	乙上同						
0	1	ニ	丙上同						
		ニ	大丸松	板 找					
0	0	枚	甲板檜						
2	0	ニ	乙上同						
0	0	ニ	丙上同						
0	0	ニ	丁上同						
0	0	ニ	戊上同						
0	0	ニ	己上同						

材	名	呼	名	種	材	名	呼	名	種	
料	品	称	品	別	料	品	称	品	別	
0	0	板	丁板	縦	0	0	枚	庚板	捨	
0	0	≡	甲板	摺	0	0	≡	辛上同	板	
0	0	≡	乙上同	板	/	/	≡	甲板		松
0	0	≡	丙上同				≡	乙上同		
0	0	≡	丁上同				≡	丙上同		
0	0	≡	戊上同				≡	丁上同		
0	0	≡	己上同				≡	甲板	抄	
0	0	≡	庚上同	枚	0	0	≡	乙上同	枚	
0	0	≡	辛上同		0	0	≡	丙上同		
0	0	≡	壬上同		0	0	≡	丁上同		
0	0	≡	癸上同		0	0	≡	戊上同		
0	0	≡	甲板		横	0	0	≡		己上同
0	0	≡	乙上同	枚	0	0	≡	庚上同	枚	
0	0	≡	丙上同		0	0	≡	辛上同		
0	0	≡	丁上同		0	0	≡	壬上同		
0	0	≡	戊上同		0	0	≡	甲板		松
0	0	≡	甲板		横	0	0	≡		乙上同
0	0	≡	乙上同	枚	0	0	≡	丙上同	枚	
0	0	≡	丙上同		0	0	≡	丁上同		

1494

1494



修理 料	取 料	取 品	名品	種 別
	0	枚	硝子	硝子類
	0	1	同上	
	0	2	同上	
	0	4	真鍮	釘
	0	=	同上	
	0	=	鉄	
	0	=	同上	銅類
	0	=	釘	
	0	=	鉄	
	2.5	=	釘	其 他
	0.5	=	スニフ	
	0.5	=	クツラ	
	0	=	テパ	他
	0	個	鉄	
	0	立	ホルア精木	
	2	枚	硝子	

1495

一四	日	木	一五	月	火	一六	火	一七	水	一八	木	一九	金	二〇	土	二一	日	二二	日	二三	火	二四	水	二五	木	二六	金	二七	土	二八	日	二九	月	火	三〇	木	三一	火	三二	木	三三	火	三四	木	三五	火	三六	木	三七	火	三八	木	三九	火	四〇	木	四一	火	四二	木	四三	火	四四	木	四五	火	四六	木	四七	火	四八	木	四九	火	五〇	木	五一	火	五二	木	五三	火	五四	木	五五	火	五六	木	五七	火	五八	木	五九	火	六〇	木	六一	火	六二	木	六三	火	六四	木	六五	火	六六	木	六七	火	六八	木	六九	火	七〇	木	七一	火	七二	木	七三	火	七四	木	七五	火	七六	木	七七	火	七八	木	七九	火	八〇	木	八一	火	八二	木	八三	火	八四	木	八五	火	八六	木	八七	火	八八	木	八九	火	九〇	木	九一	火	九二	木	九三	火	九四	木	九五	火	九六	木	九七	火	九八	木	九九	火	一〇〇	木
パ ラ オ															ラ モ ン 島															奄 美 大 島																																																																																																																																																		
上航電話機九〇電話送受話機電路試験一般手入																														工公回航送信機電路試験一般手入																																																																																																																																																		

43

一三	上	一四	金	一五	木	一六	水	一七	火	一八	木	一九	金	二〇	土	二一	日	二二	日	二三	火	二四	水	二五	木	二六	金	二七	土	二八	日	二九	月	火	三〇	木	三一	火	三二	木	三三	火	三四	木	三五	火	三六	木	三七	火	三八	木	三九	火	四〇	木	四一	火	四二	木	四三	火	四四	木	四五	火	四六	木	四七	火	四八	木	四九	火	五〇	木	五一	火	五二	木	五三	火	五四	木	五五	火	五六	木	五七	火	五八	木	五九	火	六〇	木	六一	火	六二	木	六三	火	六四	木	六五	火	六六	木	六七	火	六八	木	六九	火	七〇	木	七一	火	七二	木	七三	火	七四	木	七五	火	七六	木	七七	火	七八	木	七九	火	八〇	木	八一	火	八二	木	八三	火	八四	木	八五	火	八六	木	八七	火	八八	木	八九	火	九〇	木	九一	火	九二	木	九三	火	九四	木	九五	火	九六	木	九七	火	九八	木	九九	火	一〇〇	木
カ ミ ヤ ン 島															ハ ソ ン 島															防 雷 具 航 行																																																																																																																																																		
管 装 着															四 五 五 三 三 年 式 土 種 砲 三 号 通 常 彈 信 管 取 付 方 常 裝 藥 包 火 管 裝 着															九 五 式 二 号 土 種 砲 三 号 通 常 彈 信 管 取 付 方 常 裝 藥 包 火 管 裝 着																																																																																																																																																		
臨 戦 準 備 作 業 に 依 り 爆 雷 四 個 裝 着															九 五 式 二 号 土 種 砲 三 号 通 常 彈 信 管 取 付 方 常 裝 藥 包 火 管 裝 着															九 五 式 二 号 土 種 砲 三 号 通 常 彈 信 管 取 付 方 常 裝 藥 包 火 管 裝 着																																																																																																																																																		

大
兵
器
部

所
在

記

事

月日	所在	天候	正	圧	気	温	湿度	記	事
二四	高雄	曇	七六三	一一四	二四五			糧食搭載	
五	高雄	曇	七六二	一一二	二二二			清水搭載	
七	枋寮	曇	七六五	一一三	二二六			糧食搭載	臨戦治療準備、特務隊便乗 (二根十一名艇)
一四	金島	曇	七六〇	一一〇	二〇五			清水搭載	
一六	金島	曇	七六六	一一七	二一七			糧食搭載	
一四	菲島	晴	七六四	一一九	二一〇			海水搭載	
二二	菲島	曇	七六六	一一八	二一八			糧食搭載	
二九		晴	七六四	一一九	二一〇			左胸膜炎患者一名乗上自下九日パラオに於て病院船朝日丸に送院ス	
三〇	パラオ	晴	七六三	一一八	二〇六			散歩上陸半艇(六時間)許可	
三一		晴	七六二	一一〇	二〇〇			散歩上陸半艇(六時間)許可	

(四) 粵泊地全營地衛生状況

粵泊地、高雄枋寮、ハタケ島、カシヤン島、奄美大島、ラモシ湾、パラオニシテ各地共其ノ衛生状況、不明ナルモ内ハカシヤン島、カシヤン島ニ便所中ノ陸戦隊上陸艇又ハパラオニ於テハ恒時間散歩上陸行ハレリニ依リ其ノ都度特ニ手洗ノ薬液消毒ヲ勵行セシメ其ノ他、地

ニ於テハ陸上トノ交通少キヲメ衛生上特ニ注意ヲ要セザリ

(八) 暖房、防寒、防熱換氣ノ状況

防熱ニ関シテハ防止對策ヲ構シツ、アルモ換氣ハ概シテ良好ナリ

(二) 兵員ノ勞働、睡眠、上陸入浴ノ状況

一般兵員ノ勞働ハ哨戒配備等ニ連續行動ニ依リ稍過、睡眠ハ稍不足、上陸ハパラオニ於テハ六時間散歩上陸一回入浴ハケシメス風呂ニ同補給船ニテ、依頼入浴ニ同ニシテ凡テ保健上萬全トハ云ヒ難キモ兵員ノ士氣ハ極メテ旺盛ナリ

(六) 衛生状況

(一) 疫癘患者ノ状況

左胸膜炎患者一名乗上自下九日パラオに於て病院船朝日丸に送院セリ

(二) 傳染病流行病、地方病、鼠病及一時ニ多発セル傷病状況

特記スベキ事項ナシ

(三) 防疫ニ就テハ士官室各兵員室、烹炊所便所等ニ薬液消毒ヲ常備シ、常ニ手指ノ消毒ヲ勵行セシメ、高野泊地ニ於テハ別ニ眩門ニ薬液消毒ヲ備ヘ、外未者ニ嚴重ニ消毒ヲ行ハシメ、以テ伝染病ノ預防ノ実績ヲ擧ゲ、又一般傷病防止施設トシテ、特記スベキ事項ナシ

(四) 体重ノ増減

秤量セズ

1497

45

一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一	二	三	四	五	六	日	月
一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一	二	三	四	五	六	日	月
月	日	土	金	木	水	火	土	金	木	水	火	土	金	木	水	火	土
美大島				高嶺		少島		坊崎		高嶺						所居	
土月分俸給支給		白令丸ヨリ生糧品補給								生糧品搭載		生糧品搭載		土月俸給支給		記	

三	二	一	一	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	一
一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇	九	八	七
水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水

ハ
コ
イ

ラ
モ
ウ

間宮ヨリ生糧品貯糧品ヲ補給ス

妙高丸ヨリ生糧品補給

白令丸ヨリ生糧品補給